

2009年の交通社会の動き

1月

- 2008年の全国の交通事故死者数は、8年連続で減少し5,155人となった。また、発生件数および負傷者数も4年連続で減少し、負傷者数は10年振りに100万人を下回る等、2010年までに交通事故死者数を5,500人以下および死傷者数100万人以下とする「第8次交通安全基本計画」の目標を2年前倒しで達成。

2月

- 交通安全に対する国民の意識を高める国民運動「交通事故死ゼロを目指す日」の実施(2/20、4/10、9/30)。

4月

- 子どもと高齢者の交通事故防止をテーマに「春の全国交通安全運動(4/6～15)」を実施。
- (社)日本自動車工業会「2009年春季交通安全キャンペーン(4/6～5/6)」を実施。四輪は後席シートベルトの着用、二輪はヘルメットの正しい着用の徹底を訴求。また、運転者へ車道を走る自転車への注意喚起を行った。
- 国際交通安全学会研究調査報告ならびに学会賞贈呈式(4/17)。

6月

- 飲酒運転に対する罰則が大幅強化(6/1)。
- 75歳以上のドライバーの免許更新時における講習予備検査(認知機能検査)が始まる(6/1)。

7月

- 二輪業界が8月19日の「バイクの日」を中心に、楽しさ、安全、ライダーシップをテーマに「バイク月間」を実施(7～9月)。
- 東京・日比谷公園で「バイクの日スマイル・オン2009」を開催し、交通安全啓発のためバイクパレードを実施(8/18)。

9月

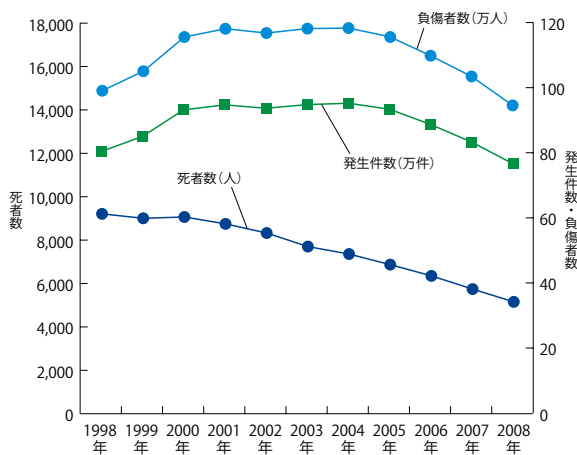
- 内閣総理大臣が指定する三輪の自動車を二輪車とみなす等の改正道交法が施行(9/1)。
- 高齢者の交通事故防止をテーマに「秋の全国交通安全運動(9/21～30)」を実施。
- (社)日本自動車工業会「2009年秋季交通安全キャンペーン(9/21～10/20)」を実施。春季の内容に加え、高齢者の歩行中・自転車乗車中の死者数を減らすため、薄暮時の安全運転の呼び掛けとともに、夕方早めのヘッドライト点灯促進を訴求。

10月

- 高速自動車国道等における車間距離保持義務違反の基礎点数、反則金の額(普通自動車の場合)の引き上げの実施(10/1)。

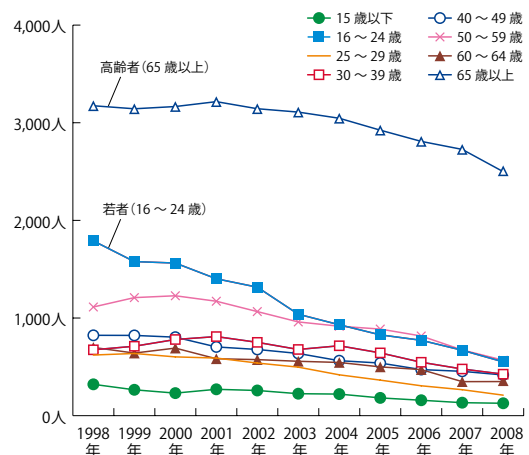


交通事故発生状況の推移



2008年の交通事故死者数は、8年連続で減少し5,155人に。2010年までに交通事故死者数を5,500人以下にする目標を2年前倒しで達成。

年齢層別死者数の推移



死者数を年齢層で見た場合、高齢者(65歳以上)が占める割合は約半数(構成率48.5%)で最多となっており、高齢者への安全対策が重要。

出典：警察庁交通局「平成20年中の交通死亡事故の特徴及び道路交通法違反取締り状況について」